

科学技術連携施策群  
「テロ対策のための研究開発  
—現場探知システムの実現」

平成20年2月4日

社会基盤プロジェクトチーム

科学技術基本法(平成7年11月15日施行)



- (1) 第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定)
- 安全が誇りとなる国—世界—安全な国・日本を実現(目標6)



- (2) 分野別推進戦略(平成18年3月28日)
- 「戦略重点科学技術」への重点投資
  - 「重要な研究開発課題」の着実な実施



- (3) 安全に資する科学技術推進戦略(平成18年6月14日)
- 我が国の総合的な安全保障への貢献



- (4) 科学技術連携施策群
- 「テロ対策のための研究開発—現場探知システムの実現」
  - 補完的課題「放射性物質の探知技術に関する研究」
  - タスクフォースの設置

科学技術振興調整費を活用して、コーディネータを中心に関係府省において実施される関連施策の  
**連携強化・重複排除**等の調整活動を行い、  
関連施策の成果の最大化を図る仕組み

科学技術連携施策群を進めていく上で、連携強化等の観点から補完的に実施すべきと総合科学技術会議が  
判断した研究開発課題(**補完的課題**)については、  
科学技術振興調整費を活用して実施

## 目標

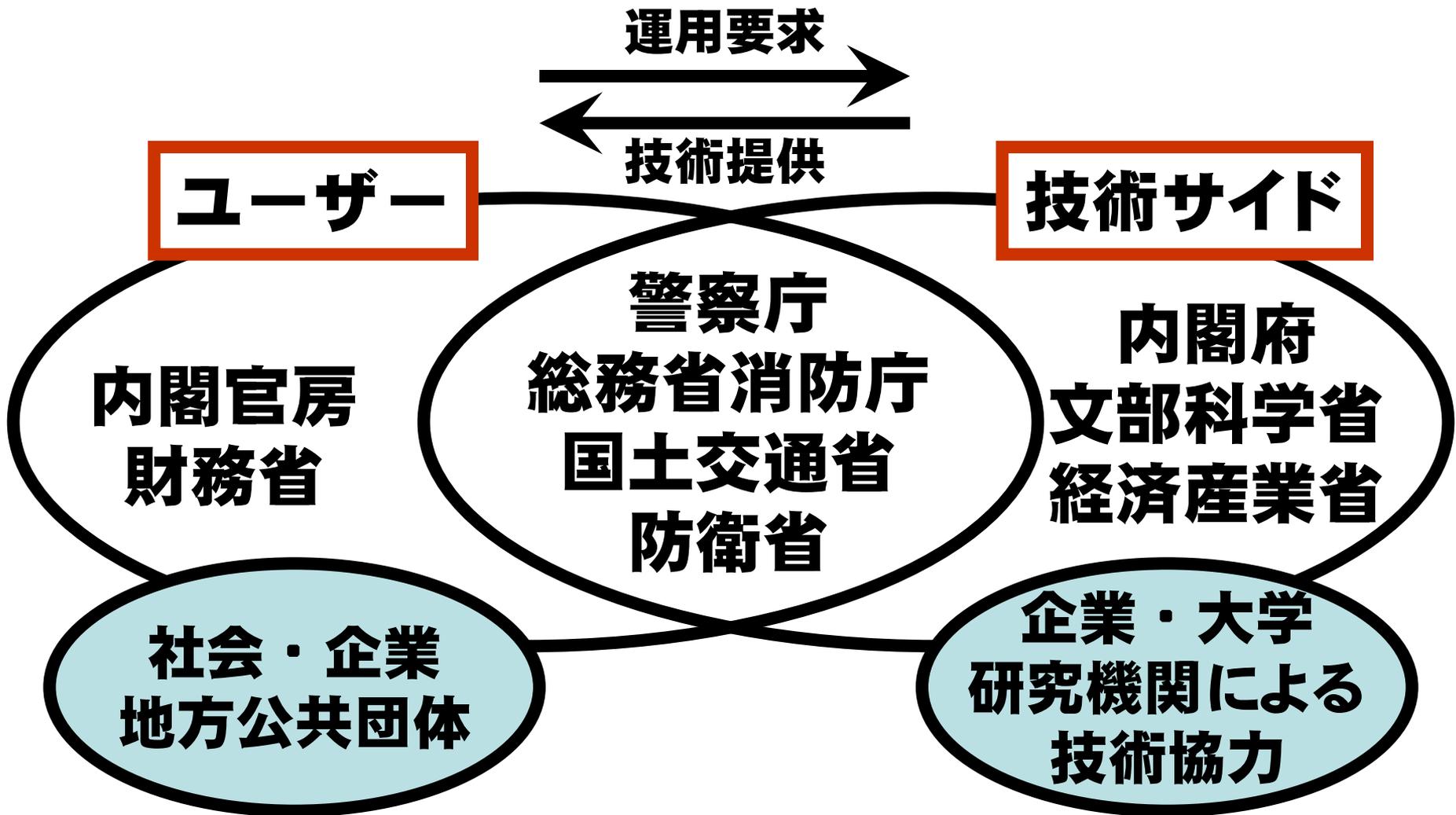
「安全が誇りとなる国ー世界ー安全な国・日本を実現」の実現に向けて、テロ・犯罪を未然に防ぐための有害危険物の現場探知・識別技術を確立

## 内容

空港、港湾、鉄道・駅及び集客施設等において、**有害危険物を探知・識別**するための**研究開発**を実施する。

有害危険物：化学剤、生物剤、放射性物質、核、爆発物、銃・刀、麻薬などテロリストに悪用されるもの

# 科学技術連携施策群 (3) 関係府省の役割



# 科学技術連携施策群（4）具体的な政策課題

## 1 テロ対策の技術マップ／ロードマップ作成

タスクフォースにおいて現在検討中。

## 2 国際協力・連携の推進

日米科学技術協力協定下の「安全・安心科学技術協カイニシアティブ」の枠組みにより、米国との研究協力を推進中。

## 3 機動的な人材育成・確保

## 4 不正な技術流出を防止するための指針策定

本年1月、経済産業省において、「安全保障貿易に係る機微技術管理ガイドランス」が策定されたところ。

## 5 安全知・技術の共有化の促進

情報の蓄積・整理や関連研究者等のネットワーク構築を推進中。  
(文部科学省「安全・安心科学技術プロジェクト」委託事業)

# 放射性物質の探知技術に関する研究

平成19年9月より新たにスタート!  
(手荷物中隠匿核物質探知システムの研究開発)



イメージ

- ☠ コバルト60
- ☠ ウラン235
- ☠ プルトニウム239

# 科学技術連携施策群 (6) 今後の進め方

平成21年度まで (3年間)

平成19年7月19日

● 第1回  
シンポジウム

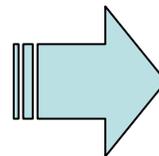
● 第2回  
シンポジウム

● 第3回  
シンポジウム

この他、有識者・専門家などを招聘し、プロジェクトチーム (PT)、タスクフォース (TF) などの会合を適宜開催し、議論を展開

連携強化に向けた検討  
「技術マップ/ロードマップ作成」

提言の実施に  
向けた取組



将来、テロ対  
策技術を社  
会・国民の安  
全確保に結実

補完的課題の推進  
「放射性物質の探知技術に関する研究」

# 参 考 资 料

# 関係府省における施策①

平成18年度

府省庁	研究課題
<b>文部科学省</b>	<b>科学技術振興調整費</b>
	違法薬物・危険物質の非開披探知装置の開発(理化学研究所)(H16-H18)
	水中セキュリティソーナーシステムの開発(東京大学)(H17-H19)
	テロ対策のための爆発物検出・処理統合システムの開発(東京大学)(H17-H19)
	化学剤・生物毒素の一斉現場検知法の開発(警察庁科学警察研究所)(H17-H19)
	<b>安全・安心のための先端センサー技術開発費</b>
	ナノ加工薄膜を用いた高感度毒ガス検知装置の開発(理化学研究所)(H17-H19)
<b>国土交通省</b>	<b>戦略的創造研究推進事業のうち先進的統合センシング技術</b>
	セキュリティ用途向け超高感度匂いセンサシステムの開発(九州大学)(H17-H21)
	全自動モバイル型生物剤センシングシステム(警察庁科学警察研究所)(H17-H20)
<b>国土交通省</b>	<b>交通機関におけるテロ対策強化のための次世代検査技術の研究開発</b>
	NQR(ラジオ波)による新たな手荷物検査技術の開発(H17-H19)
	ミリ波による新たな旅客検査技術の開発(H17-H19)

# 関係府省における施策②

平成19年度

府省庁	研究課題
<b>警察庁</b>	<b>爆発物の現場処理技術に関する研究</b> (H19-H21)
<b>文部科学省</b>	<b>安全・安心科学技術プロジェクト</b>
	ウォークスルー型爆発物探知システム(日立製作所)(H19-H21)
	ミリ波パッシブ撮像装置の開発(東北大学)(H19-H21)
	化学・生物剤マルチ検出バイオセンサの開発(大阪大学)(H19)※
	設置型生物剤検知デバイス実用化に関わる研究(佐賀大学)(H19)※
	<b>科学技術振興調整費</b>
手荷物中隠匿核物質探知システムの研究開発(日本原子力研究開発機構)(H19-H21)	
<b>安全・安心のための先端センサー技術開発費</b>	
<b>戦略的創造研究推進事業のうち先進的統合センシング技術</b>	
<b>国土交通省</b>	<b>交通機関におけるテロ対策強化のための次世代検査技術の研究開発</b>

※フィージビリティスタディ

(注)青字は新規を表している。

# 関係府省における施策③

平成20年度

府省庁	研究課題
警察庁	爆発物の現場処理技術に関する研究
	R (radiological)テロにおけるRN物質探知技術と現場活動支援機材の研究開発(H20-H22)
文部科学省	安全・安心科学技術プロジェクト(新規課題が公募・採択される予定)
	科学技術振興調整費
	戦略的創造研究推進事業のうち先進的統合センシング技術

(注) 青字は新規を表している。